

令和5年度 血液製剤適正使用部会報告

1 部会の設置目的

血液製剤の適正使用について協議し、輸血療法の安全性の向上を図るため、東京都献血推進協議会の下部組織として設置

2 開催時期

令和5年10月17日（火曜日） 午後5時から午後6時まで（WEB開催）

3 出席委員（敬称略）

部会長	小竹 桃子	（保健医療局保健政策部長）
委員	田中 朝志	（東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科准教授）
	奥山 美樹	（東京都立駒込病院輸血・細胞治療科部長）
	名倉 豊	（東京大学医学部附属病院 副臨床検査技師長）
	藤田 浩	（東京都立墨東病院 輸血科部長）
	横山 孝	（河野臨牀医学研究所理事長）
	牧野 茂義	（東京都赤十字血液センター所長）
	渡辺 大介	（保健医療局健康安全部薬事監視担当課長）
オブザーバー	大橋 晃太	（トータス往診クリニック院長）

4 議事

（1）令和5年度血液製剤適正使用推進事業の進捗状況について

- ・ 東京都輸血療法研究会
- ・ 血液製剤適正使用アドバイス事業

（2）輸血状況調査について

- ・ 令和4年輸血状況調査の結果（報告）
- ・ 令和5年輸血状況調査の実施（内容変更箇所の検討）

（3）「小規模医療機関における輸血マニュアル」の改訂について

令和5年度血液製剤適正使用推進事業 実績

1 東京都輸血療法研究会

(1) 世話人会 令和5年7月31日(月曜日) WEB開催

第22回東京都輸血療法研究会の開催に向け、実施方法、テーマ、演者等を協議

(2) 第22回 東京都輸血療法研究会の開催

日 時 : 令和5年11月27日(月曜日)
場 所 : 都庁第一本庁舎 5階 大会議場
プログラム : 次ページのとおり

[研究会参加者数の推移]

		第22回 令和5年度	第21回 令和4年度	第18回 令和1年度	第17回 平成30年度	第16回 平成29年度	第15回 平成28年度
各動画 視聴回数	医 師	4人	1人	9人	11人	17人	19人
	臨床検査技師	103人	105人	198人	252人	238人	286人
	看 護 師	4人	2人	30人	43人	26人	28人
	薬 剤 師	11人	6人	16人	12人	12人	21人
	事 務 等	16人	26人	28人	24人	39人	33人
	計	138人	140人	281人	342人	332人	387人

動画視聴回数：第19回（令和2年度） 423～701回、第20回（令和3年度） 189～405回

2 血液製剤適正使用アドバイス事業

個々の医療機関における血液製剤適正使用への取組について、輸血学の専門家を派遣し、医療機関の状況に応じた助言や最新の知見提供等を行う。令和5年度は、訪問またはweb会議方式の選択制により実施した。

・実績：6病院（応募15件より、新規病院、前回訪問から長期間経過している病院を優先として7病院を選定した。うち1病院が辞退。実施病院は、6病院すべて新規。4病院は訪問、2病院はweb会議方式にて実施した。）

3 輸血状況調査

都内の医療機関における血液製剤の使用状況を把握し、適正使用を推進するための資料とするため実施

(1) 令和4年輸血状況調査 結果の公表（概要：資料5）

対象医療機関：都内606病院、調査対象期間：令和4年1月～12月

調査データに基づき病床規模別の血液製剤使用量の平均値を算出。各病院の実績との対比表を作成し、自院の現状把握に役立てていただけるよう返送

(2) 令和5年輸血状況調査の実施

・調査票「血漿分画製剤の使用状況」に、令和5年中に新規販売された製剤の追加や、名称変更した製剤名の修正および販売が終了した製剤を削除。また、血漿分画製剤の分類項目の見直しも行った。

第22回

東京都輸血療法研究会

日時

2023年11月27日(月) 16:30~20:00

場所

東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場 (定員550名)



参加費無料：参加申込書に記載のうえ、当日ご持参ください

第1部

I 令和5年度 献血功労者 厚生労働大臣表彰・感謝状伝達式
東京都知事感謝状贈呈式

II 献血セミナー ～ 献血の現状と課題 ～

鹿野 千治 東京都赤十字血液センター

第2部 東京都輸血療法研究会

I 基調講演：血漿分画製剤の使用状況と課題～原料血漿確保と国内自給について～

座長 安藤 純 順天堂大学医学部細胞療法・輸血学

演者 牧野 茂義 東京都赤十字血液センター

II 輸血療法Q&A

座長 田中 朝志 東京医科大学八王子医療センター 輸血部

水村 真也 虎の門病院 輸血部

① 血小板製剤の細菌スクリーニング導入について

演者 石丸 健 日本赤十字社 血液事業本部

② 赤血球型検査ガイドライン改訂のポイント

演者 森山 昌彦 東京都立墨東病院 検査科

III 輸血療法シンポジウム ～血漿分画製剤の使用実態～

座長 奥山 美樹 東京都立駒込病院 輸血・細胞治療科

藤田 浩 東京都立墨東病院 輸血科

オーバービュー

藤田 浩 東京都立墨東病院 輸血科

① FFP、アルブミン製剤等血漿分画製剤の適正使用

佐藤 智彦 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部

② 膠原病内科での血漿分画製剤の使用状況

草生 真規雄 順天堂大学医学部 膠原病内科学

③ CIDPでの免疫グロブリン療法

清水 優子 東京女子医科大学 脳神経内科

ディスカッション(総合討論)

主催 東京都

共催 東京都赤十字血液センター

後援

東京都医師会
日本輸血・細胞治療学会
東京都薬剤師会
東京都看護協会
東京都臨床検査技師会

日本医師会生涯教育制度【合計単位1.5単位
(カリキュラムコード7(1.0単位),0(0.5単位))】

日本輸血・細胞治療学会認定医制度
認定輸血検査技師制度
学会認定・臨床輸血看護師制度

資格審査用証明書発行

お問合せ

東京都 保健医療局 保健政策部 疾病対策課
東京都赤十字血液センター 学術情報・供給課

TEL : 03-5320-4506
TEL : 03-5272-3519